

# 海老名・中新田保育園

## 増築遅れ仮設教室

### 手続きに時間、議会反発

増加する待機児童の解消を目指して海老名市が準備を進めている「市立中新田保育園」（同市中新田）の増築事業について、市議会で疑問の声が上がっている。市は1月下旬の臨時会に2014年度一般会計補正予算案を提出したが、用地の開発許可に時間を要し完成が遅れることが分かり、急ぎよ着工した仮設教室の確保などの対応に不審点があるためだ。（山口 譲一）

この問題は、開会中の第1回市 育二一スが高まると見込まれてい  
議会定例会で山口良樹市議（海政  
会）らが「臨時会の際、説明され  
た増築内容とは違った工事が行わ  
れている」と指摘したことで明ら  
かになった。

市子育て支援課によると、増築  
事業は同園前の約1300平方  
の借地に平屋の新園舎（延べ床面  
積約230平方）を5年間のリ  
ース方式で設置、不足している園  
庭も整備。同園のびよ棟（0  
〜3歳児）を卒園する4、5歳児  
を主な対象に60人を受け入れる。  
市内の待機児童は昨年10月現在  
で71人。今後、数年間はさらに保

かとなった。  
市は応急措置として同園敷地に  
プレハブ式の教室約50平方の  
設置工事を3月に入ってから、月  
末の完成を目指している。経費は  
増築棟賃借料から約2千万円を充

当した。工事発注では「緊急性が  
高い」として通常の一般競争入札  
は行わず、業者との随意契約で実  
施。答弁の中で、「一部報告を怠っ  
た」と説明不足を認めた。  
山口市議は「当初から開発行為  
の許可手続きにかかる時間は十分  
に想定できたはず。見通しが立つ  
た段階で議会に提案すべきで、高  
額な随意契約の扱いにも疑問が残  
る」と話している。

市の保育行政をめぐっては、3  
月末の閉園を決めた私立保育園へ  
の対応で混乱を招き、保護者らか  
ら批判が集まっている。

補正予算案には、増築棟賃借料  
（14〜19年度）の名目で1億53  
00万円を債務負担行為として計  
上、1月27日の臨時会で賛成多数  
で可決された。

しかしその後、予定地が市街化  
調整区域内の農地であるため、県  
による事前の許可手続きなどに数  
カ月かかることが判明。今月18日  
に開かれた定例会での一般質問に  
対する当局の答弁で、新園舎の利  
用開始が10月になる見通しが明ら

## 随契の扱いにも疑問



仮設教室の設置を進めている市立中新田保育園  
＝海老名市中新田